

公立大学法人北九州市立大学の平成22年度に係る業務の実績及び  
中期目標期間に係る業務の実績に関する評価調書

全体評価調書

分野別調書

記 入 要 領

北九州市地方独立行政法人評価委員会

平成 2 3 年 月

## 公立大学法人北九州市立大学の平成22年度に係る業務の実績に関する全体評価調書

### 【全体評価】

#### 【全体評価】 評価委員が記述(箇条書き)

分野別評価の結果や大学の実績を端的に示す指標等を参考にしながら、中期計画の進行状況全体について「評価委員会」による評価(特筆すべき点や遅れている点、その他の意見等を記述)。

- ・ 事業の実施状況について(分野別・分野横断的な事項の実施状況等について)
- ・ 業務運営の改善・効率化等について
- ・ 財務状況について
- ・ 法人のマネジメントについて
- ・ 市民への説明責任と透明性の確保について
- ・ 地域貢献を目指した特色ある取り組み等について

### 【参考】 評価指標についての説明

#### 【分野別評価】

- A: 特筆すべき進行状況
- B: 計画どおり
- C: 概ね計画どおり
- D: やや遅れている
- E: 重大な改善事項がある

#### 【年度計画記載項目別評価】

- : 年度計画を上回って実施している
- : 年度計画を概ね順調に実施している
- : 年度計画を十分に実施できていない
- : 年度計画を実施していない

# 公立大学法人北九州市立大学の中期目標期間に係る業務の実績に関する全体評価調書

(中期目標期間:平成17年4月1日～平成23年3月31日)

## 【全体評価】

### 【全体評価】 評価委員が記述(箇条書き)

分野別評価の結果や大学の実績を端的に示す指標等を参考にしながら、中期目標期間の業務実績の全体について総合的な視点から「評価委員会」による評価(特筆すべき点や遅れている点、その他の意見等を記述)。

- ・ 事業の実施状況について(分野別・分野横断的な事項の実施状況等について)
- ・ 業務運営の改善・効率化等について
- ・ 財務状況について
- ・ 法人のマネジメントについて
- ・ 市民への説明責任と透明性の確保について
- ・ 地域貢献を目指した特色ある取り組み等について

## 【参考】 評価指標についての説明

### 【分野別評価】

- ・ 中期目標の達成状況が非常に優れている
- ・ 中期目標の達成状況が良好である
- ・ 中期目標の達成状況がおおむね良好である
- ・ 中期目標の達成状況が不十分である
- ・ 中期目標の達成のためには重大な改善事項がある

### 【中期計画記載項目別評価】

- : 中期計画を上回って実施している
- : 中期計画を概ね順調に実施している
- : 中期計画を十分に実施できていない
- : 中期計画を実施していない

公立大学法人北九州市立大学の平成22年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する分野別・項目別調査

【中期目標期間に係る業務の実績に関する分野別評価】

<p>教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>.....</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="6">評価結果</th> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <th colspan="6">中期目標期間の評価の経年変化</th> </tr> <tr> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>B</td> <td>/</td> </tr> </table>	評価結果						/						中期目標期間の評価の経年変化						H17	H18	H19	H20	H21	H22	B	B	B	B	B	/
評価結果																															
/																															
中期目標期間の評価の経年変化																															
H17	H18	H19	H20	H21	H22																										
B	B	B	B	B	/																										

【平成22年度に係る業務の実績に関する分野別評価】

<p>教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>5段階評価</p> <p>.....</p>	<p>【分野別評価（記述式）】 評価委員が記述（箇条書き）</p> <p>【中期目標期間に係る業務の実績に関する分野別評価】                  中期計画に掲げた下記5分野について、中期目標期間に係る項目別評価を踏まえた「評価委員会」による評価を記述（特筆すべき点や遅れている点について記述）。</p> <p>【平成22年度に係る業務の実績に関する分野別評価】                  中期計画に掲げた下記5分野について、平成22年度に係る項目別評価を踏まえた「評価委員会」による評価を記述（特筆すべき点や遅れている点について記述）。</p> <p>参考資料：別紙「平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価」</p> <p>&lt; 中期計画5分野 &gt;                  教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置                  業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置                  財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置                  教育研究及び組織運営の状況について自ら行う点検評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置                  その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置</p>
---	--

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育内容と成果に関する具体的方策

中期計画	年度計画	進行状況		実施状況等	評価		評価結果の説明及び特筆すべき事項
		中期	年度		中期	年度	
学生の勉学意欲及び就労意欲を育てるため、地域性、実践性、学際性、時事性を重視した授業科目の充実等教養教育科目の見直し及び学生の職業選択にかかわる授業科目の設定並びに教養教育と専門教育との連携を強化する。	【教養教育科目の見直し、専門教育との連携強化、キャリア教育】 学部生のインターンシップの単位化について、既に実施している国際環境工学研究科の状況を踏まえ、検討を行う。  基礎教育科目として1、2年次対象のキャリア教育科目を開講するほか、経済学部専門教育科目において、職業選択に関する授業科目を開講する。	(例)	(例)	(平成17～21年度) ..... 大学が記述済み 【平成17～21年度の実施状況等の自己評価(記述式)】 【平成22年度の実施状況等の自己評価(記述式)】 中期・年度計画の項目ごとに、業務実績、当該年度計画の客観的な進行状況、その判断理由等を大学が記述。(実績報告書と同内容)	(例)	(中期目標期間) ..... 評価委員が記述(箇条書き) ..... 【項目別評価】 年度計画の実施状況等の「評価委員会」による評価(記述式) ..... 大学の自己評価と評価委員の判断が異なる場合は、その理由を記述。 ..... 判断が同じ場合でも、特筆すべき点や遅れている点があれば、その旨を記述。	
				(平成22年度) ..... 大学が記載済み 【中期・年度計画の実施状況を自己評価(4段階評価)】 中期計画の項目ごとに、当該年度計画の実施状況等を下記指標に照らして大学が自己評価。 ..... < 評価指標 > 年度計画を上回って実施している 年度計画を概ね順調に実施している 年度計画を十分に実施できていない 年度計画を実施していない			(例)

平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価  
 (分野 : 教育研究の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置)

<p>【平成21年度分野別評価結果】</p> <p>5段階評価</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 87項目のうち、85項目は年度計画以上の進捗状況であり、そのうち9項目は年度計画を上回っており、全体としては順調に計画を推進していると認められる。</li> <li>・ 教育に関する目標を達成するための措置に関しては、インターンシップ、派遣留学制度等多様な取組みを推進し、成果をあげており評価できる。</li> <li>・ 語学教育や企業との研究面での連携強化が望まれるが、いずれも長期にわたる取組みを必要とするものであり、取組みの充実・継続を期待する。</li> <li>・ 各取組みの質をさらに高めるため、成果評価基準を明確していくことも重要であると考えます。</li> </ul>
<p>【平成20年度分野別評価結果】</p> <p>5段階評価</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 105項目のうち、104項目は年度計画以上の進捗状況であり、そのうち15項目は年度計画を上回っていると認められ、全体としては順調に計画を推進していると認められる。</li> <li>・ 研究に関する目標を達成するための措置は計画通り進捗しており、社会貢献に関する目標を達成する措置は計画を上回る状況にあると認められる。</li> <li>・ 現在の取組みの継続した実施が望まれる。</li> <li>・ 教育に関する目標を達成するための措置に関しては、その質を評価し、質を高めるための実行性のある取組みを継続・強化する必要がある。</li> <li>・ 北九州市立大学の特色の一つである英語教育については、システムの見直しも含め、なお一層目標達成へ努めることが望まれる。</li> </ul>
<p>【平成19年度分野別評価結果】</p> <p>5段階評価</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的に計画は順調に進んでおり、特に地域貢献や基盤教育の充実が評価に値する。</li> <li>・ 悩み事相談から就職支援まで総合的な支援を行う「学生プラザ」の開設や、3回続けて欠席した学生に対して面接指導などを行う「早期支援システム」などは、学生の抱える様々な問題を早期に発見し対応するものであり、高く評価できる。</li> <li>・ 九州大学に続いて九州で2番目のビジネススクールは、サテライトキャンパスの設置など開かれた大学として成果をあげていると認められる。</li> </ul>
<p>【平成18年度分野別評価結果】</p> <p>5段階評価</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期計画の2年目ではあるが、公立大で全国初の専門職大学院（ビジネススクール）の開設、天然系消火剤の世界初の開発等、先進的な取組みが行われる一方、教育研究の質の向上に必要な機構改革、組織編成も順調に進んでいる。</li> <li>・ 全国的に国公立大学志願者が減少傾向にある中、広報活動の強化、充実により平成19年度一般選抜志願者の増加に結びつけたことは評価できるが、更なる志願者数確保のためには、他大学にはない北九州市立大学の特色を前面に打ち出した積極的なアピールが欠かせない。</li> <li>・ 今後は、北九州市立大学の強みである語学教育やアジア、環境分野での教育・研究について、数値目標を設定したうえで取組み、広く一般に成果をアピールすることが望まれる。</li> <li>・ また、各学部・学科において策定したFD（教育改善）実施計画の着実な進捗と成果を期待したい。</li> </ul>
<p>【平成17年度分野別評価結果】</p> <p>5段階評価</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 137項目のうち、135項目（約98.5パーセント）は年度計画以上の進捗状況であり、そのうち35項目（25.5パーセント）は年度計画を上回っていると認められる。初年度からこのような積極的な取組みを行っていることは特筆に値し、全体として計画どおり進捗していると評価できる。</li> <li>・ 各種の委員会が設置され、組織体系も整備されている。また、施設も整い、教育研究の環境条件は目標に向かって順調に進捗している。さらに、全学共通の教養教育を担当する「基盤教育センター」設置に向け所属する教員の選考も終了しており、早期の目標実現が期待できる。</li> <li>・ 北九州市立大学が伝統的にその質を評価される語学教育については、英検、TOEIC、TOEFLの取得目標を数値化して取り組んでいただきたい。</li> <li>・ 学生による授業評価システム、教員間の相互評価等、新しい取組みが行われており、今後の成果を期待したい。</li> </ul>

平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価  
 (分野 : 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置)

<p>【平成21年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、計画どおりに順調に進捗している。</li> <li>・理事長、学長のリーダーシップの発揮により、大学の学外評価の向上が図られていることは、高く評価できる。</li> </ul>
<p>【平成20年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として計画どおり進捗しており、この取組みを継続することが望まれる。</li> <li>・学部・学科再編に伴う効果的教員配置は高く評価したい。適切な教員評価と評価結果の反映を行い、広く門戸を開き優秀な教員が集まる環境を整えることを期待する。</li> <li>・理事長・学長のリーダーシップの発揮により、かなりの改善・効率化が進展しているところであるが、各学部教授会からの発案・積極的な活動がより必要と考えられる。</li> </ul>
<p>【平成19年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<p>ビジネススクールの開設や学部学科の再編、大学院の再編や地域創生学群の設置に向けたさまざまな取り組み、中期計画前半の総括や残り3年間の取り組みについての後期基本方針の策定など、重要案件が推進されていることは、理事長・学長のリーダーシップによるところが非常に大きい。また、学内の運営体制も整い、業務運営の改善と効率化が着実に進んでいる。今後も理事長、学長のリーダーシップのもと、学内において各種情報の共有化を図り、機動的な大学運営を行うことを期待する。</p>
<p>【平成18年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤教育の充実と学部・学科の再編、専門職大学院（ビジネススクール）の設置は、中期計画において大きなウエートを占める極めて重要な事業であり、これは、大学改革のビジョンと理事長、学長のリーダーシップ、それを支える組織体制、情報共有、教職員への動機付け等、すべてが噛みあって推進できるものであり、迅速で戦略的な業務運営体制は評価できる。</li> <li>・「基盤教育センター」「入試センター」「キャリアセンター」「地域貢献室」などの中核的組織の新設、教育総括副学長の設置、学外専門家の登用など、理事長・学長のリーダーシップのもとに、業務運営の改善および効率化のための準備が着実に進行している。</li> <li>・今後、外部研究資金の獲得や目標達成が困難な状況にある入試志願者確保について、大学経営の立場から対応を講じる必要性が生じてきている。</li> </ul>
<p>【平成17年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長及び学長のリーダーシップの発揮は望ましいことであるが、引き続き、各学部教授会等の意見を踏まえ、教職員が一体となった、より一層、円滑な大学運営を図ることが重要である。</li> <li>・人事に関しては採用、昇任制度の見直しが行われており、より優秀な人材の確保と選考の透明性が期待できる内容となっている。今後は、採用の前提となる幅広い採用情報のPRが必要である。</li> </ul>

平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価  
 (分野 : 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置)

<p>【平成21年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として、計画どおりに順調に進捗しており、この取組みを継続することが望まれる。</li> <li>・外部研究資金の獲得については、目標を大幅に上回り、優れた成果をあげている。また科学研究費補助金への申請件数も増加してきたことから今後の研究面の充実に相乗効果を及ぼすことを期待する。</li> </ul>
<p>【平成20年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として計画が軌道に乗ったと思われ、この取組みを継続することが望まれる。</li> <li>・民間企業の厳しい経済状況の中、外部資金を確保していることは評価に値する。今後は国家的プログラムへの参入など、公的資金の獲得に向けても更なる努力が望まれる。</li> </ul>
<p>【平成19年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務運営に関し、特に計画に比して遅れている点は見られない。ただし、受託研究が増加したのに比し、特許出願件数が連続して減少している点は懸念される。</li> <li>・外部資金について、前年度と比較して11%上回り、平成22年度の目標である年間5億円を平成19年度の時点で達成した努力は評価できる。今後は、科学研究費補助金等の大学間の競争的資金の獲得などにさらなる努力が望まれる。</li> </ul>
<p>【平成18年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研究資金が前年度と比較して件数、金額ともに増加していることは評価できるが、自主財源確立の中でも外部資金獲得は直接研究内容、教育内容に結びつくものであり、年度毎の目標を適切に設定し、着実に達成していく必要がある。</li> <li>・大学施設の開放は市民、企業にとってもメリットが大きいと、資源の有効活用の観点から今後も適切な使用料設定のもと推進すべきである。</li> <li>・2年連続で剰余金が約3億8000万円生じているため、その有効活用と戦略的かつ効率的な予算編成・執行管理が望まれる。</li> </ul>
<p>【平成17年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研究資金の確保は目標を上回る実績となっており、教職員の積極的な努力の成果であり特筆に値する。今後も大学の目指す方向性を研究内容の整合性を図りながら推進していただきたい。</li> <li>・教員研究費を弾力的に運用できるように見直しを行い、教員のモラルアップにつなげていることや、ESCO事業の導入や契約手法の見直しなど経費削減への様々な努力がなされていることを評価する。</li> <li>・少子化の中で多くの受験生を確保する事は困難が予想されるが、魅力的な大学づくりと適切な広報活動を行い、自主財源の確立をはかることが期待される。</li> </ul>

## 平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価

(分野：教育研究及び組織運営の状況について自ら行う点検評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためとるべき措置)

### 【平成21年度分野別評価結果】

5段階評価

B

- ・認証評価を受けるため、組織的に取り組み、高い評価を受けたことは特筆すべきであり、今後も現状の取組みを維持していくことが望まれる。
- ・教育研究活動や大学運営に関する学内外への情報提供は重要であり、今後も積極的な取組みを期待する。

### 【平成20年度分野別評価結果】

5段階評価

B

- ・計画どおりに進展しているが、中期計画の数値目標に関わる見直しについては、科学的、合理的な根拠に基づいてタイムリーに行う必要がある。
- ・自己点検・評価がきちんと行われており、学内での評価システムが整っていると認められる。
- ・教員の教育研究活動報告書作成やホームページ等での情報公開を行ったことは、大学の知名度アップにも大いに貢献するものと期待できる。今後もデータの点検・更新に留意しつつ、積極的な情報提供を推進するなど、より一層の努力が望まれる。

### 【平成19年度分野別評価結果】

5段階評価

B

- ・自己点検・評価に関し、大学評価や教員評価等に関する事項を所管する評価室を設置しており、自ら自己点検・評価を冷静かつ積極的に行っていることは評価できる。
- ・自己点検・評価は、時間が経つにつれ評価すること自体が目的化し、肝心の評価内容が形骸化してしまう恐れがある。今後とも、自己点検・評価が惰性的にならないように常に配慮することが必要である。

### 【平成18年度分野別評価結果】

5段階評価

B

- ・「評価室」の設置、公立大学初の格付機関による格付審査の実施など、評価に対する意欲は評価できる。
- ・大学の自己評価や教員評価を今後の大学運営やFD（教育改善）活動に直接つなげていく仕組みが必要である。また、評価結果や改善の取組みについて積極的に公表することが望まれる。
- ・教育研究の状況について、大学の特色や成果について一般市民や高校生へのさらなるPR努力を期待したい。

### 【平成17年度分野別評価結果】

5段階評価

B

- ・大学評価や教員評価等の各種評価に関する事項を所管する評価室の設置により、各種評価の情報が一括管理でき、今後の運営のより効果的反映が期待される。
- ・大学情報の公開については、常に新鮮な情報提供と、市外に対しては地域情報も合わせて発信することが、北九州市立大学に対する興味と注目の一助になるとと思われる。



平成17～21年度に係る業務の実績に関する分野別評価  
 (分野 : その他業務運営に関する重要目標を達成するためとるべき措置)

<p>【平成21年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般に順調に進捗している。学生を大学が実施するプロジェクトへ参画させることは、教育の視点からも有効であるとする。</li> <li>・自然災害や人為的事故などのリスクに備える体制や日常的な啓発活動の充実が必要である。</li> <li>・メンタルなケアを必要とする大学生が大都市圏を中心に増えつつある状況に留意して、早めに安全衛生の対応を検討しておくことも必要である。</li> <li>・施設に関する長期メンテナンス、改修計画は、施設が大規模であるため、早期に計画を立案することが必要であるとする。</li> </ul>
<p>【平成20年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として計画どおり進捗しており、この取組みを継続することが望まれる。</li> <li>・キャンパス環境の整備は中・長期的整備計画と連動し、効果的に進めることが望まれる。</li> <li>・各種ハラスメントの防止については継続的啓発が重要であり、あわせて万一の場合に備えた危機管理体制も十分整えておく必要がある。</li> </ul>
<p>【平成19年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理については常に認知・確認しておくことが必要であり、平時からのきめ細かな配慮が必要である。</li> <li>・安全で安心な大学は日常の地道な取り組みが重要である。実効性のあるセクハラ研修、メンタルヘルス研修などを行うことで、健康や人権に対する意識の一層の向上を図ることが求められる。</li> </ul>
<p>【平成18年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備については、地方独立行政法人としての中・長期的な明確なビジョンを示し、特に大規模な整備等については、設置者である北九州市と協議のうえ、予算措置も含めた検討を行うべきである。</li> <li>・安全管理については、平常時からの危機管理に対する認知、確認が求められており、社会状況を見てもますますの強化が望まれる。</li> <li>・メンタルヘルス研修、各種ハラスメント研修などを行い、健康や人権に対する意識の向上に努めていることは地道ながら非常に重要であると思われる。</li> </ul>
<p>【平成17年度分野別評価結果】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>5段階評価</p> <p><b>B</b></p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な施設管理と、建物の長寿命化のためには経済効率の良い改修、改築計画等、長期施設整備に基づき計画的な整備が望まれる。</li> <li>・危機管理には多くの分野があり、対応は容易でないとと思われるが、常に新しい情報の収集と適切な訓練も必要と思われる。</li> </ul>